

いじめの問題に対する組織的な対応について

# I 県 Y 町中学 2 年男子生徒の自殺が疑われる事案について

## 1 事案の概要

- 7 月 5 日 中学校 2 年生男子生徒(13 歳)が電車で飛び込んで自殺したとみられる事案が発生
- ・当該男子生徒は、学級担任(30 代女性)に提出していた生活記録ノートにいじめや自殺をほのめかす記述をしていた。
  - ・学級担任は当該男子生徒が記述した内容を学年主任等に報告せず、管理職や同僚教員も把握していなかった。

## 2 事案発生までの経過

### (1) 平成 26 年度

- 5 月 当該男子生徒が生活記録ノートにいじめ被害を訴える内容を記述
- ・「まるでいじめられている気分です。もうげんかいです」と記述した。
  - ・学級担任は「みんなが仲良くできる方法を考えましょう。まずは、自分の気持ちを相手に伝えよう」と返事を書いた。
- 7 月 当該男子生徒が生活記録ノートにいじめが継続していることを訴える内容を記述
- ・「先生にはいじめの多い人の名前をおしえましょう。もう限界です」と記述した。
  - ・「クラスでいじめがまたいやになってきました」と記述した。
  - ・学級担任は「三者面談で伝えますが、2 学期、みんな変われるといいですね」などと返事を書いた。
- 9 月 学校がトラブル相手の生徒を交えて面談を実施
- ・学級担任及び別の教員とともに、当該男子生徒やトラブル相手の生徒を交えて面談し、指導した。
  - ・学校は、いじめの前段階で対処し、一定の解決をみたと考え、町教委に毎月報告するいじめ件数はゼロとした。
- 12 月 当該男子生徒が生活記録ノートにいじめが継続していることを訴える内容を記述
- ・「何十回も『死ね』って言われるんですけど」と記述した。
- 2 月 当該男子生徒が生活記録ノートに自殺をほのめかす内容を記述
- ・「死にたいと思ったときがけっこうありました」と記述した。
  - ・学級担任は「どうしてそう感じるのかな?何もかもダメと感じているの?少し休んでリフレッシュできるといいなあ」などと返事を書いた。

### (2) 平成 27 年度

- 4 月 7 日 当該男子生徒が生活記録ノートに新学期への期待を示す内容を記述
- ・「この今日を大切に、でだしよく、終わりよくしたいです」と記述した。
  - ・学級担任は「みんなと協力してがんばろう」と返事を書いた。
- 4 月 20 日 当該男子生徒が生活記録ノートに自殺をほのめかす内容を記述
- ・「しっばいばかりだし、もうイヤだ。死にたいぜ☆」と記述した。
  - ・学級担任は「環境が変わって慣れていないからね。がんばれ」と返事を書いた。
- 5 月 当該男子生徒が体育で使用するジャージがなくなるトラブルが発生
- 5 月 学校が「悩みアンケート」を実施
- ・当該男子生徒が「悪口を言われている」と回答し、学級担任が相手生徒と面談し、問題は解決したと考えた。
- 5 月 13 日 当該男子生徒が生活記録ノートに自殺をほのめかす内容を記述
- ・「ずっと暴力、ずっと悪口、そろそろ休みたい氏(死)にたい」と記述した。
  - ・学級担任は「全体にも言おうと思います」と対処を模索した。
- 5 月 29 日 当該男子生徒が生活記録ノートに面談を希望する内容を記述

- ・「面談とか先生たちとだけのはなしっていつくるだろう」と記述した。
- ・学級担任は「まだ先です。7月です。3者面談のこと？」と返事を書いた。
- 6月3日 **当該男子生徒が生活記録ノートに他の生徒とのトラブルに関する内容を記述**
  - ・「〇〇とけんかをしました。ついにげかいになりました。もう耐えられません」と記述した。
- 6月5日 **当該男子生徒が生活記録ノートにいじめがなくなった旨を記述**
  - ・「いじめはなくなりました。次やってきたら殴るつもりでいきます。そうなるまえに、僕を助け…」と記述した。
  - ・学級担任は「なぐるのはダメです。先生が代わりに言います」と返事を書いた。
- 6月8日 **当該男子生徒が生活記録ノートにいじめ被害を訴える内容を記述**
  - ・「実はボクさんごんいまで苦しんでたんすよ？なぐられたりけられたり首しめられたりこちよがされたり悪口言われたり！その分を（全ぶだしてないけど）ちょっと殴ったんですヨ。」と記述した。
  - ・学級担任は「そんなことがあったの？それは大変、いつ？？解決したの？」と返事を書いた。
- 6月9日 **当該男子生徒が生活記録ノートにいじめが継続していることを訴える内容を記述**
  - ・「解決してません。またこりずにやってきた」と記述した。
  - ・学級担任はトラブルのあった生徒を指導し、解決は図られたと考えた。
- 6月10日 **当該男子生徒が生活記録ノートに自殺をほのめかす内容を記述**
  - ・「もうつかれました。もう死にたいと思います」と記述した。
  - ・学級担任は「〇〇に言うておきます！まず体を今は治すように」と返事を書いた。
- 6月28日 **当該男子生徒が生活記録ノートに自殺をほのめかす内容を記述**
  - ・「もう生きるのにつかれてきたような気がします。氏（死）んでいいですか？」と記述した。
  - ・学級担任は「どうしたの？テストのことが心配？クラブ？クラス？元気を出して生活しよう。〇の笑顔は私の元気の源です」と返事を書いた。
- 6月29日 **当該男子生徒が生活記録ノートに自殺をほのめかす内容を記述**
  - ・「ボクがいつ消えるか分かりません。ですが、先生からたくさん希望をもらいました。市（死）ぬ場所はきまってるんですけどね」と記述した。
  - ・学級担任は「明日からの研修楽しみましようね」と返事を書いた。
- 6月30日 **学級担任が当該男子生徒に声がけ**
  - ・学級担任が「どうしたの？」と声をかけたところ、当該男子生徒は「大丈夫です」と答えた。
  - ・7月1日からの田沢湖への宿泊研修の話題になり「バスの座席はどうなっているんですか」と尋ねた。
- 6月下旬 **学校がいじめアンケートを実施**
  - ・当該男子生徒が「いじめを受けている」旨を回答した。
  - ・学校は、アンケートの集計及び結果に基づく面談を実施しなかった。
- 7月3日 **当該男子生徒が学校を欠席**
  - ・学級担任が電話をかけると、当該男子生徒が「熱は大丈夫」と答えた。
  - ・学級担任は「(翌4日土曜日の)部活動を休み、月曜日に元気に来たほうがよい」と勧め、月曜日の時間割を伝えた。
- 7月5日 **当該男子生徒が部活動を欠席**
  - ・当該男子生徒は、午後1時49分、インターネット機能がある携帯型ゲーム機に「これが最後の投稿になります」と書き込んだ。
  - ・当該男子生徒は、午後2時18分、「ミニマリオがじさつするそうです」と投稿した。

### 3 事案発生後の対応

- 7月7日 学校が全校生徒を対象にアンケート調査及び聞き取り調査を実施  
・アンケート調査によりいじめを目撃したと回答した生徒と当該男子生徒と同じクラスや所属していた部活動の生徒を対象に詳細な聞き取り調査を実施した。  
学校が保護者への説明会を実施
- 7月10日 教育長が記者会見において謝罪
- 7月13日 校長が当該男子生徒の父親に謝罪  
・教職員への聞き取り調査などを基に、7月中に結果を報告する意向を示した。
- 7月21日 当該男子生徒の父親が、Y町に対して第三者委員会の運営や人選は町長をトップとする町総合教育会議で行うよう要望
- 7月26日 学校がアンケート調査や聞き取り調査の報告書を当該男子生徒の父親に提出  
・報告書では、当該男子生徒が計7人の生徒から受けたいじめが6件あったと判断。「いじめが自殺の一因だったと考えられる」と認めた。  
【学校調査でいじめと判断された内容】  
○1年生  
・7～10月ころ  
同じ部活動の5人が当該男子生徒にきつい言い方をし、当該男子生徒が泣いた。  
○2年生  
・5～6月  
学年集会などで同級生2名が複数回、当該男子生徒をくすぐるなどからかった。当該男子生徒をわざと列に入れないようにしていた。  
・6月3日  
給食準備中、当該男子生徒が早退するため準備していた際、同級生1名が教科書を投げ、当該男子生徒が泣いた。  
・6月中旬  
同級生1名が当該男子生徒に消しゴムを投げ、当たった。当該同級生が当該男子生徒の首のあたりをつかみ机に頭を押し付けた。  
・6月24日  
自習時間中、同級生1名が当該男子生徒に消しゴムを投げもみ合いになり、当該男子生徒が相手生徒の腕をつねった。  
・6月  
清掃中に同級生1名が間違っただけにして当該男子生徒にほうきをぶつけた。別の日の掃除前には同級生1名と当該男子生徒が言い合いになった。  
当該男子生徒の父親が複数の生徒を刑事告訴  
・認定されたいじめに関わった複数の生徒を暴行など3容疑で刑事告訴し、受理された。
- 7月27日 学校が全校集会を実施  
・調査報告書の内容を生徒に説明した。  
・3年生の有志がいじめ防止に取り組む生徒総会を開こうと約120人分の署名簿を校長に提出した。  
・学校は2学期以降、いじめの再発防止に向け全校生徒で話し合う生徒総会を開催する予定。
- 8月4日 担任教諭が当該男子生徒の自宅を訪れ、当該男子生徒の父親に謝罪
- 8月10日 Y町教育委員会が、第三者委員会の設置条例案を町議会に提出  
・当該男子生徒の父親の要望について、委員の人数を増やすことや委員を遺族と教育委員会が共同で推薦することなどで、教育委員会と当該男子生徒の父親が合意したことから設置条例案を提出した。  
・Y町教育委員会は、8月中に第三者委員会を設置し、詳細調査を実施することとしている。

#### 4 その他の情報

##### (1) 学校規模（平成26年度）

	生徒数	学級数	1学級平均生徒数
全体	486人	17学級	
普通学級	484人	15学級	32.3人
特別支援学級	2人	2学級	
	生徒数	学級数	1学級平均生徒数
1年生	154人	5学級	30.8人
2年生	165人	5学級	33.0人
3年生	167人	5学級	33.4人